



キャンパス の風景 09

愛知大学公館

愛知県豊橋市

建設から今年で108年

激動の時代を乗り越えた和洋折衷の美しい建物

愛知大学公館は旧陸軍第15師団長官舎として1912(明治45)年に建てられ、豊橋キャンパスの北方に位置します。1917(大正6)年に師団長となった久邇宮邦彦(くにのみやくによし)王の娘である良子(ながこ)女王(のちの昭和天皇皇后)もここで少女時代の一時期生活をされました。1925(大正14)年に第十五師団が廃止された後は、陸軍教導学校・予備士官学校長の宿舎などに使われましたが、1946(昭和21)年の本学創立に伴い、愛知大学学長公館や教員宿舎として1980年代後半まで利用されました。

建物は洋館と、北翼と南翼を持つ和館を併設した464㎡の平屋建てで、洋館は公室、和館は私室として利用されたようです。洋館は木造寄棟造の棧瓦葺で、建物内部には玄関・玄関ホール・廊下・応接室・和室広間などがあります。また和館も木造寄棟造の棧瓦葺で、内部は和室と台所からなっています。

創建当時の姿をよく残しており、ほぼ完全な状態で残る師団長官舎としては全国的にまれな例です。また明治末期の和館併設の木造住宅として、歴史的にも建築的にも価値が高いものです。2002(平成14)年には豊橋市指定有形文化財に登録されています。

※愛知大学公館は現在公開されておりません。

